

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：城東中学校

授業の概要	
授業日時・学年・教科・単元名等	
授業日時：平成25年2月25日	
学年： 1年1組	教科：社会科
単元名：江戸幕府の成立と鎖国	
ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 授業中 <input checked="" type="checkbox"/> 事前	
単元・題材の目標	
「江戸幕府の成立と鎖国」 目標：「江戸幕府はなぜ260年も続いたのか？」について考え、その理由として「巧みな大名統制」「巧みな農民支配」そして「鎖国」という3つの理由があることを理解する。	
単元全体の流れ	
○江戸幕府の成立について理解し、それが260年も続いたということを知る。 (一斉学習)	
○江戸幕府がなぜ260年も続いたのかを考える。(班別学習)	
○3つの理由の中から、本時は「鎖国」について調べる。(個別学習)	
○調べた内容について異なった班編制の中で発表し、共有化を図る。 (ジグソー型の班別学習)	
本時の中心となる授業形態	
<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
本時の目標(評価の観点)	
○江戸幕府が260年間続いた理由について意欲的に考えているか。	
○上記の理由について3つ挙げることができる。	
○鎖国について意欲的に調べているか。そしてそれについて具体的に説明することができるか。	
情報通信技術の活用	
活用した場面	
<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他()	
活用した者	
<input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒	
活用する目的	
<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化	
<input type="checkbox"/> 教員の説明 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒による説明	
<input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動	
<input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較	
<input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input type="checkbox"/> その他()	
活用したコンテンツ	
活用した機器	
<input checked="" type="checkbox"/> IWB <input checked="" type="checkbox"/> タブレットPC <input type="checkbox"/> 実物投影機	
<input type="checkbox"/> その他()	

1. 本時の展開

学習の流れと子どもの活動	指導・支援のポイント	使用した機器やコンテンツ
<p>教員の説明を聞く。 江戸幕府の成立について知り、江戸幕府がいつ滅んだのか知る。</p> <p>【班別学習】 江戸幕府がなぜ260年間も続いたのか、その理由について意見を出し合う。</p> <p>班別に発表する。</p>	<p>織豊政権の崩壊、関ヶ原の戦い等、江戸幕府の成立までの流れについて概観できるようにする。</p> <p>年表で江戸幕府の滅亡時を調べ、それまでの間、260年間続いたことを知る。</p> <p>教科書を見せないで、生徒の考えを重視する。</p> <p>事前にまとめられるよう小さなWBを用意する。</p>	IWB
<p>【個別学習】 3つの理由の中が「鎖国」について調べる。</p> <p>【ジグソー型班別学習】 自分の調べた内容について班の中で説明し、疑問点を出し、その疑問について班で回答を考える。</p>	<p>「鎖国」の理由 当時の開港場所（4つの玄関）などを調べられているか、机間巡視をしながらチェックする。</p> <p>ポイントがずれていないかチェックする。</p>	PC
<p>まとめた内容についてプリンターで打ち出し、知の共有化を図る。</p>		PC プリンター

<協働学習の実施状況>

- 生徒が相互に教え合う場面があった 数名が一緒に学び合う場面があった
- 数名が協力したり助け合ったりする場面があった 数名が話し合う場面があった
- 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
- 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
- ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

(1) 活用のねらい

各種史料を I W B によって提示することにより、当時のようす（たとえば長崎の出島の風景）などが捉えやすくなる。

P C による調べ学習は、2 月という時期もあり、非常に慣れていて、スムーズに進んでいる。

(2) 活用により期待される効果

生徒の学習に対する意欲が高まる。

3. 実践上の課題

P C での調べ学習に個人的な差が顕著になりつつあり、時間的な差が大きくなっている。

※本報告は、2 頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、W e b での公開など広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。